

【ポスター発表】

## 福田会におけるアーカイブズの整備と活用（Ⅰ）

—これまでの経緯と史資料・記録の整理作業の報告を中心に—

○ 専修大学 野口 武悟 (007944)

宇都 榮子 (専修大学・000207)、菅田 理一 (鳥取短期大学・003416)

キーワード：児童養護施設、アーカイブズ、史資料・記録

## 1. 研究目的

アーカイブズというと、地方公共団体が設置する公文書館のイメージが強い。しかし、近年は、大学や企業などでもアーカイブズを整備する動きが広がっている。

社会福祉法人・施設については、桜井昭男が2013年に「文書管理に関するアンケート」調査を全国782の法人・施設を対象に実施している。調査をふまえて、桜井は、「回答のあった施設のおよそ3分の1の施設がいわゆるアーカイブズ機能の導入の必要性を認識していることを合わせて考えると、規程の制定はもとより、保管場所の確保や具体的な文書管理のためのマニュアルの制定、その人材の確保など」（桜井、2015）が求められるとしている。

東京にある社会福祉法人福田会も、アーカイブズの整備に着手したところの1つである。1879（明治12）年の福田会育児院の創立から140年近い歴史を有する福田会は、現在、児童養護施設に加え、知的障害児施設、高齢者施設も経営する法人に発展している。

本報告では、福田会が着手したアーカイブズ整備の取り組みのうち、史資料・記録（以下、資料とする）保存のこれまでの経緯と現在取り組んでいる整理作業を中心に述べる。

## 2. 研究の視点および方法

本研究は、前述の桜井の指摘をふまえつつ、福田会を事例として社会福祉法人・施設におけるアーカイブズの整備と活用のプロセスを実証的に検討しようとするものである。本研究の成果は、これからアーカイブズの導入・整備に取り組もうとする他の社会福祉法人・施設にも参考になるものと考えている。

## 3. 倫理的配慮

本研究は、法人側との緊密な連携のもと、日本社会福祉学会研究倫理指針に従い研究に取り組んでいる。

## 4. 研究結果

## (1) これまでの経緯

長谷川匡俊、松本園子、土井直子、宇都榮子らで東京地域児童福祉施設史研究への取り組みを開始していた矢先の2007（平成19）年、宇都は、故三浦文夫氏より福田会所蔵資料の存在を伝えられた。はじめ、長谷川らは「戦前期東京地域（関東地域）における児童福祉に関する総合的研究会（仮称）」を組織して、二葉保育園も含めての研究を目指したが、

途中から、福田会に特化した研究に改め、長谷川、土井、菅田理一、宇都らで、2007年11月に福田会を訪問、資料閲覧し、福田会では施設改築計画もあったため、資料を東京児童福祉研究所で一時的に預かることになった（ダンボール150箱ほど）。そして、前述の研究者に加えて、新たに野口武悟、小泉亜紀らが参画して研究グループ「福田会育児院史研究会」を組織し、資料の整理並びに研究を進めることになった（2008年に仮目録作成）。

## （2）現在の作業



図1・図2 移送前の東京児童福祉研究所で保管する資料

図3  
福田会図書室  
に  
移送  
した  
資料



2014年には福田会の改築も終了したので、東京児童福祉研究所からアーカイブズを兼ね

た福田会図書室に2016年4月に資料を移送した。資料劣化防止のため、中性紙袋への詰め替えを行い、仮資料目録の修正に取り組んでいる。あわせて、福田会規則類などの資料集を随時刊行した上で、『福田会140年史』刊行を目指しての研究に取り組んでいる。

## 5. 考察

先に述べた桜井の調査によると、「管理・保存・廃棄システムの構築（文書管理規程の制定）」「保存場所の確保」「電子文書管理システムの導入」「人手の確保」などが「文書进行管理するために必要と思うこと」の上位にあがっている。

福田会においては「保存場所」（場としてのアーカイブズ）は確保されているが、それ以外の点については、今後検討し、取り組んでいくべき課題といえる。規程の制定については、法人側もその必要性を認識しており、制定を働き掛けていきたい。また、電子文書管理システムについては、どういったシステムを導入するのか、その予算はどうするのかなど、法人側との議論が必要といえる。さらに、アーカイブズを永続的に維持していくためには、また、外部の研究者への公開や活用を図るためにも、担当者の確保と明確化は不可欠であり、そのあり方を探っていきたい。

### 【文献】

・桜井昭男『社会福祉施設における文書等のアーカイビングに関する事例研究』（平成24～26年度科学研究費補助金・基盤研究（C）・研究成果報告書）、2015年

### 【謝辞】

本研究の実施にあたっては、社会福祉法人福田会のみならず多大なご協力をいただいている。ここに記して感謝申し上げます。

### 【付記】

本研究は、日本学術振興会科学研究費助成事業（基盤研究（C））「第二次大戦後の福田会育児院の運営組織と社会福祉実践史研究」（15K03958）の成果の一部である。